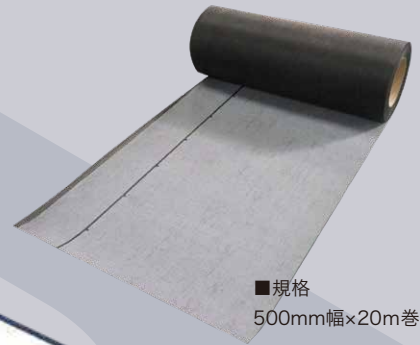


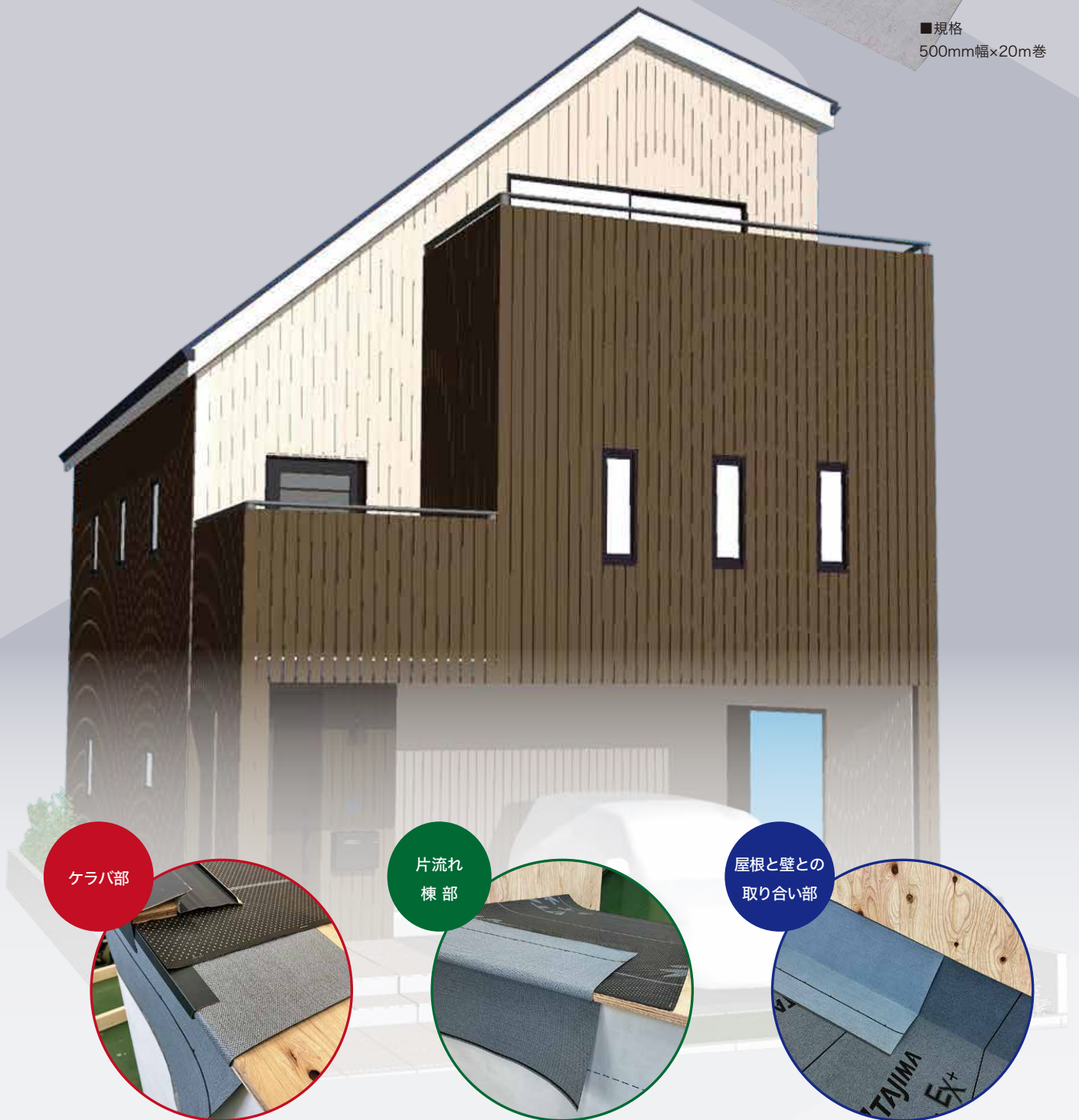
とりあいルーフィングF

高強度で軽くしなやかな素材 **Free&Flexible**

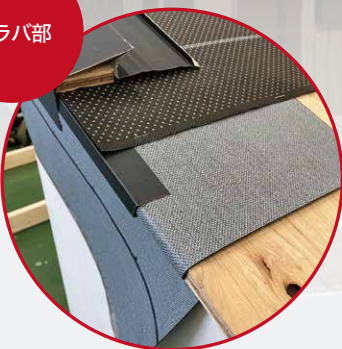
近年の戸建て住宅は、軒の出や庇のない「軒ゼロ」の屋根形状、陸屋根やパラペット付き勾配屋根、一体型バルコニーなどの採用により、外壁への雨掛かりが多くなっています。このような防水への依存度が高い密閉型の外皮構成が一般化するとともに、保険法人による漏水事故部位の報告でも「軒の出がない屋根と外壁の取り合い部」が上位にランクされるようになりました。そうした「軒ゼロ」仕様の雨仕舞強化に対応する製品です。



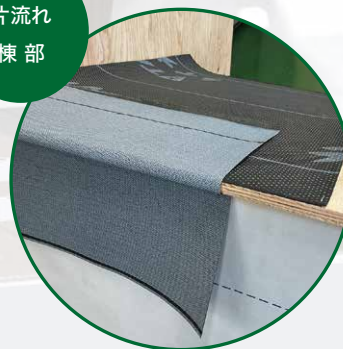
■規格
500mm幅×20m巻



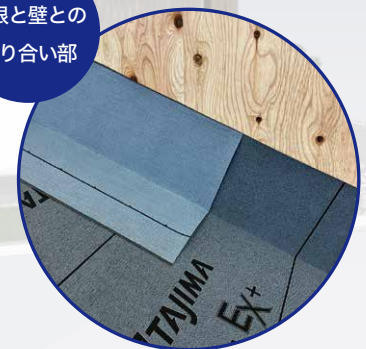
ケラバ部



片流れ棟部



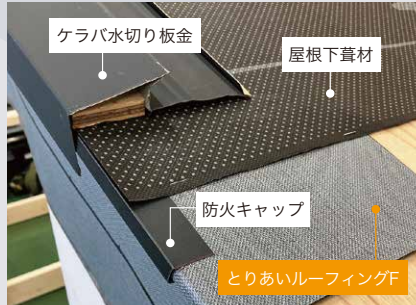
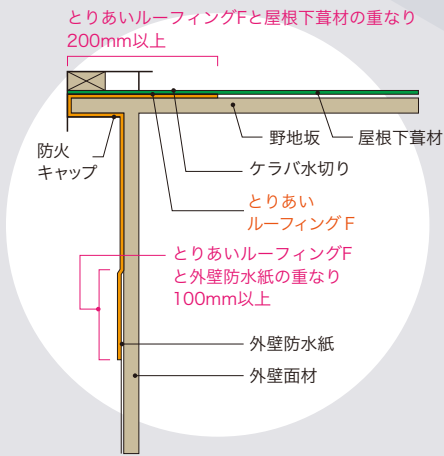
屋根と壁との取り合い部



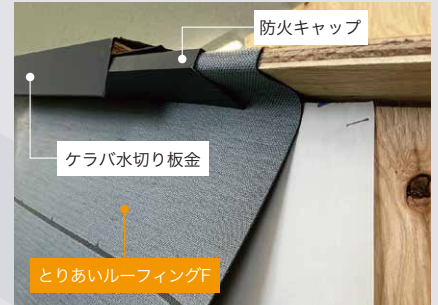
とりあいルーフィングF【施工例】

いずれの施工例も、破風などが付かない軒ゼロの場合は、外壁に張り下げた「とりあいルーフィングF」の裏に外壁防水紙を差し込むことで、防水層の連続性を確保します。

ケラバ部

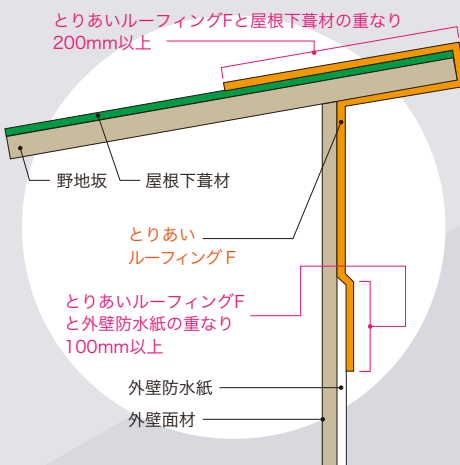


とりあいルーフィングFは強度がありしなやかな素材なので、ケラバ部野地板になじみやすく、巻き込むことが可能。



とりあいルーフィングFと外壁面材との外壁防水紙を差し込み、とりあわせることで、防水層の連続性を確保する。

片流れ棟部



片流れ棟部も同様に、とりあいルーフィングFを使用することで、防水層の連続性を確保できる。



コーナー部は、防水テープとノービルテープで処理する。

屋根と壁との取り合い部



屋根と壁との取り合い部



棟部増し張り

高強度で軽くしなやかな素材が可能にした「軒ゼロ」仕様の雨仕舞強化に対応

